

Press Release

オーティコン株式会社 www.oticon.co.jp

2014年7月30日

報道関係者各位

**オーティコン、
難聴者と健聴者が共に楽しめる「みみともコンサート 2014」を開催**～ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の前コンサートマスター率いる
ゲーデ弦楽四重奏団による、至高のクラシック音楽をお届け～

100余年の歴史を持つ補聴器メーカー、オーティコン株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：木下 聡、以下オーティコン）は創立110周年を記念して、難聴を抱える方々と健聴者が共に楽しんでいただく音楽コンサート「オーティコン みみともコンサート 2014」を、2014年10月18日（土）、津田ホールにて開催いたします。演奏者には、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の前コンサートマスターであるヴァイオリニスト、ダニエル・ゲーデ氏率いる弦楽四重奏団を迎え、至高の旋律をお届けいたします。本コンサートは、期間中の応募者の中から抽選で招待するもので、入場料は無料です。

デンマークで創業し世界120ヶ国以上に補聴器を提供する当社は、「ピープル・ファースト～聞こえに悩みを抱える人々を第一に考える」の企業理念のもと、聞こえに悩みを抱える方々を力づけるための活動に取り組んでまいりました。国内においては2011年以降、補聴器をより身近に感じていただくために“補聴器”という言葉の代名詞として「みみとも」（＝耳のともだち）を提唱し、補聴器が難聴者と家族をつなげる良きパートナーであることを訴求しています。本コンサートイベントは当社のCSR活動の一環として開催するものであり、子供から大人まで、そして聞こえに悩みを抱える方々と健聴者が共に弦楽器の奏でるハーモニーを楽しんでいただき、更に、来場者すべての方に聞こえと難聴、そして補聴器に対する理解を深めていただくことを目的としています。

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団前コンサートマスターであるヴァイオリニスト、ダニエル・ゲーデ氏は次のように述べています。「音楽は人に感動と夢をあたえてくれます。私たちは、人はみな平等に音楽を感じ、楽しむことができるべきだと思っています。今回、私たちはオーティコンの開催の主旨に共鳴し、ぜひ協力したいと思いました。このような演奏の機会をいただき、私たち一同、心から嬉しく思っています。10月に皆様の前で演奏できることを楽しみにしています。」

本コンサートでは、難聴者のための情報保障として要約筆記を用意いたします。要約筆記とは、難聴を抱えている方が講義などを受ける際に、通訳者が連携しながら話者の言葉を要約して画面に字幕化するものです。当社はこのような健聴者と難聴者が一同に会する場で、聞こえと難聴についての理解を深めるための啓蒙活動を行う所存です。

当社代表取締役社長 木下 聡は、音楽会の企画に際し次のように述べています。「私自身、趣味のひとつとして様々な音楽会に足を運びますが、『補聴器をつけている方は電源を…』という場内アナウンスを聞いたときに、音楽をもっと聴きたいと願う補聴器ユーザーの方々とともに、充実したひとときを送れないものかと考えていました。この度、補聴器メーカーとして実現できることの一つとして、大規模なものではなくともこのような音楽会を催すことによって、ピープル・ファーストという当社の企業メッセージを伝えたいと考えました。健聴者と難聴を抱える方々を共に招待して開催するこのイベントは弊社では初めての試みですが、大変意義のあることであると感じ、このような試みをぜひ

Press Release

オーティコン株式会社 www.oticon.co.jp

継続していきたいと考えています。」

オーティコンは、今後も聞こえに悩みを抱える人々がより楽しい毎日を送るための「みみとも」普及活動を続けてまいります。

■「オーティコン みみともコンサート 2014」開催概要

- 【日時】 2014年10月18日(土) 開場 18:15～ 開演 19:00～20:30 (終演予定)
- 【会場】 津田ホール (JR千駄ヶ谷駅前)
東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-18-24
- 【出演】 ゲーデ弦楽四重奏団
- 【定員】 490名
- 【入場料】 無料 (応募者のなかから抽選でご招待)
- 【応募資格】 開催の主旨にご賛同いただける全ての方
- 【応募締切】 2014年9月21日(日)
- 【情報保障】 要約筆記
- 【主な演奏曲】 ドヴォルザーク 弦楽四重奏曲 第12番 ヘ長調 op.96 「アメリカ」
ヨハン・シュトラウス2世、ヨーゼフ・シュトラウス ピッツィカート・ポルカ
日本の歌 (メドレー)
タンゴ (メドレー)
ヨハン・シュトラウス2世 美しき青きドナウ
※演奏曲は都合により変更になることがあります。
- 【応募方法】 官製はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、希望参加人数 (最大4名まで) をご記入のうえ、9月21日(当日必着)までに下記事務局宛にご郵送ください。
※FAX 応募をご希望の方は、オーティコンホームページよりお申込みフォームをダウンロードして事務局宛にご返送ください。
- 【お申込み・お問合せ先】
オーティコン みみともコンサート 2014 事務局
〒156-0043 東京都世田谷区松原 3-40-7-4
TEL : 03-5301-0946 FAX : 03-5355-1292
お問合せ受付期間 : 2014年8月1日(金)～10月18日(土)
10時～18時 (土・日・祝日を除く)
※抽選結果に関するお問い合わせは応じかねます。
※当選の発表は招待券の発送をもってかえさせていただきます。
- 【主催】 オーティコン株式会社
- 【協力】 特定非営利活動法人フレンドシップ・コンサート
- オーティコンホームページ <http://www.oticon.co.jp/>
- 当キャンペーンサイト <http://www.oticon.co.jp/mimicon2014>

Press Release

オーティコン株式会社 www.oticon.co.jp

ゲーデ弦楽四重奏団について：ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団前コンサートマスター、ダニエル・ゲーデ氏は現在ニュルンベルク音楽大学ヴァイオリン科主任教授の要職にあるが、ソリストとしての活躍も目を見張るものがある。他方、室内楽奏者としてはゲーデ3兄弟によるゲーデ・トリオやピヤニスト、マリノ・フォルメンティらと組んでのウィーン・フーゴ・ヴォルフ三重奏団など活発に活動をしている。そして長年の夢であった弦楽四重奏団を組織し、第2ヴァイオリンにステファン・フーヴァ(バイエルン放送交響楽団団員)、ヴィオラにはマティアス・シェスル(バイエルン放送交響楽団団員)、そしてチェロは実弟のセバスティアン・ゲーデ(ハンブルク国立歌劇場団員)を選び活動している。2011年11月、約4週間にわたって行われた初めての日本公演では、サントリー大ホールをはじめとする各地会場に熱狂的な感動を生み出した。



ダニエル・ゲーデ氏について：ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団前コンサートマスター。1966年ドイツ、ハンブルクに生まれる。6歳よりヴァイオリンを始め83年ドイツ国内コンクール第1位及びカール・フレッシュ国際コンクール優勝。1986年にはクラウディオ・アバドの主催するヨーロッパ・ユースオーケストラのコンサートマスターに就任、1991年より94年までベルリン芸術大学で教鞭をとり、2000年以降はニュルンベルク音楽大学ヴァイオリン科主任教授の要職にある。1994年から2000年までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団及びウィーン国立歌劇場管弦楽団でコンサートマスターを務めた。日本では、ウィーン・フーゴ・ヴォルフ三重奏団ほか、多彩なコンサート活動の傍ら積極的に後進の指導にあたっている。



■オーティコン社およびオーティコン株式会社について

補聴器におけるパイオニアであるオーティコン社 (Oticon A/S) は、ハンス・デマントにより1904年にデンマークに創設されました。オーティコン社は世界で唯一の慈善財団が所有する補聴器会社であり、ウィリアム・デマント・ホールディング社の傘下にあります。その日本支社がオーティコン株式会社 (www.oticon.co.jp) です。オーティコンの企業理念「ピープル・ファースト」とは、「聞こえに悩む人々を第一に考え、彼らが自由に伝えあい、自然にふるまい、そして活動的に生活できるように力づける」という信念に基づきます。オーティコン社は先進のノンリニア補聴器、フルデジタル補聴器および人工知能補聴器を開発し、業界のパイオニアとして革新的な技術を難聴者と共に開拓してきました。またオーティコン社は1977年に先進技術とオーディオロジ（聴覚学）を研究するエリクスホルム研究所を設立し、世界中から参集した様々な分野の科学者と1,000人以上のテストユーザーとともに将来の補聴器開発に取り組んでいます。オーティコンは世界各国で補聴器をはじめ、聴覚関連機器、医療機器の製造・販売を行っています。
※文中に記載の名称は、各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

オーティコン株式会社 マーケティング部 (担当:山口)
TEL044-543-0615 FAX 044-543-0616 E-mail : info@oticon.co.jp